

## 2 地球温暖化の影響

### (3) 21世紀末の気象

理科…自然と人間

#### 【真夏日】

・最高気温が30℃以上35℃未満の日

#### 【猛暑日】

・最高気温が35℃以上の日

#### 【IPCC】

Intergovernmental Panel on Climate Change

・国連の活動の一つで「気候変動に関する政府間パネル」のこと。

・世界中の気候変動の研究状況を整理した報告書を公開している。

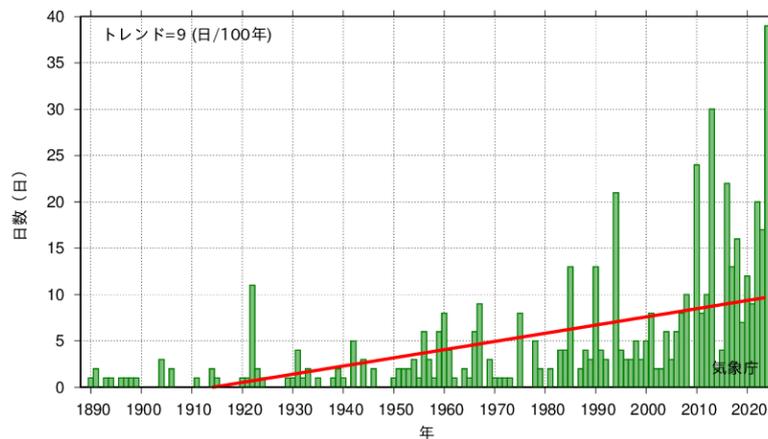
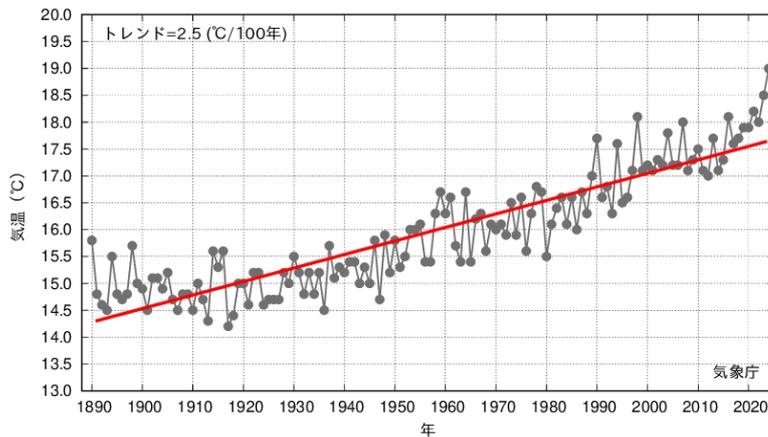
・2019年の特別報告書では、気温上昇を2℃よりも1.5℃未満におさえることで気候影響は大きく異なることが説明された。

近年、平均気温が上昇し、真夏日や猛暑日といった暑い日も増えています。福岡の年平均気温は、100年で2.5℃の割合で上昇しており、日本の年平均気温の上昇割合（1.40℃/100年）よりも大きいことが分かりました。福岡の猛暑日は、100年当たり9日の割合で増加しており、特に1990年代半ばを境にその日数が大きく増加しています。

■福岡の年平均気温（上）、猛暑日数（下）のうつりかわり

※赤い点線は長期傾向

（出典：福岡管区気象台）



このまま地球温暖化が進むとどうなるのでしょうか。世界中の科学者が協力して100年先の温度を予想しています。それによると、もし地球温暖化を防ぐ努力をしないと、21世紀末には世界の気温が、20世紀末に比べて3.3～5.7℃上昇すると考えられています。（出典：IPCC 第6次評価報告書）



## <話し合ってみよう>

世界的な予測に基づいて、将来、九州各県の気象がどうなるか予測されています。下の表は、福岡の予測結果をまとめたものです。この表から、福岡の将来の気象について考えたことを話し合ってみよう。

### ■ 福岡県の将来の気象予測\*1

項目	20世紀末 1980~1999年	将来予測 2080~2099年	(参考) 2024年
年平均気温	16.7℃	4.1℃ <sup>じょうしょう</sup> 上昇	19.0℃
真夏日	52日	約63日増加	53日
<sup>もうしょ</sup> 猛暑日	5日	約35日増加	39日

#### (話し合いのポイント)

- ・ 人間の生活や健康への<sup>えいきょう</sup>影響
- ・ 農林水産物への<sup>えいきょう</sup>影響

◇考えたこと

◇話し合った結果



\*1 九州・山口県の地球温暖化予測情報第2巻 2019年5月増補版(福岡管区気象台)